

Weekly Report

令和7年12月16日(火)

第2224回例会



◆ 会長／山口 篤 ◆ 幹事／玉井 智春 ◆ 会報／中島 真一

● 例会日 毎週火曜日 12:30～13:30

● 例会会場 ホテルモリノ7F TEL 044-966-1300

● 川崎百合丘ロータリークラブ ホームページ

<http://www.kawasaki-yurigaoka-rc.jp/>

作者の言葉

我へ百合丘ロータリークラブ
大変お世話になりました
毎月の例会で、多くの人々と
交流する機会があり、とても
楽しかったです。
また、地域貢献活動を通じて、
地域社会に対する貢献感を
強く感じました。
今後も、この精神をもって、
活動を続けていきたいです。

第2224回例会記録 令和7年12月16日(火) 22/46回

<点鐘>

山口会長

<ソング> 我等の生業

<会長報告>

山口会長

1.「トライアル期間を設け若い会員層(35歳未満)の地区資金を免除する件」

各クラブの会員増強活動支援の一つとして、クラブ細則で若い会員層(35歳未満)の経費負担を減額しているクラブについては、2025-26年度下期より2028-29年度までの3年度半をトライアル期間として地区資金(本会計・特別会計事業費・特別会計地区大会補助金)を免除することが決定

当クラブは対象クラブとなります。

<幹事報告>

玉井幹事

*当クラブ例会・案内

12/23(火) 年末クリスマス家族会

12/30(火) 定款細則による休会

1/6(火) 新年会 点鐘18:00 梅の花

1/13(火) クラブフォーラム

<ニコニコ委員会>

北島克己委員長

山口会長→「石野財団委員長、セミナー報告よろしくお願ひします」。玉井幹事→「次週のクリスマス会、景品の提供宜しくお願ひ致します」。以下、感謝をこめてニコニコへ。赤本会員、阿久澤会員、安藤亨会員、安藤美恵子会員、府川会員、福家会員、

土井会員、平岡会員、井上久会員、井上勇会員、石貝会員、石野会員、伊藤久史会員、伊藤暁志会員、菊池会員、小島会員、小塚会員、松野会員、森会員、中島真一会員、中島健児会員、大野会員、大矢会員、親松会員、嵯峨野会員、嶋会員、白井旭会員、白井克典会員、菅会員、俵会員、渡邊会員、北島克己会員。

<出席委員会>

赤本委員長

	会員	出席	欠席	メーク	出席率
第2224回	51	36	15		70.59%
第2223回	51	32	19	4	70.59%

<ニコニコ・財団・米山委員会>

	今回		累計	
	件数	金額	件数	金額
ニコニコ	34件	34,000円	705件	778,000円
財団	0件	0円	16件	207,000円
ベネファクター	0件	0円	1件	147,000円
米山	0件	0円	21件	237,000円

本日のプログラム

<委員会報告>

ロータリー財団委員会

石野委員長

12月8日に開催されたロータリー財団補助金管理セミナーの報告をさせて頂きます。ロータリー財団の寄付金は5つの用途に分かれており、補助金、奨学金、職業研修チーム、平和フェロー、ポリオとなってお

第2226回 1月6日 新年会

第2227回 1月13日 クラブフォーラム

第2228回 1月20日 委員会報告

※諸事情により、スケジュールは変更になる場合があります。

ります。補助金は地区の裁量で自由に使用でき、地区内の各クラブへの奉仕活動の補助金として利用できる地区補助金、ロータリー財団の7つの重点分野に該当し、且つ2つの国が共同で行う大規模プロジェクトに使用するグローバル補助金の2つがあります。地区補助金の申請にあたっては、今回のセミナーへの参加に加え、クラブ参加資格認定の覚書(MOU)の提出によって条件が満たされます。次年度申請をするのであれば、2月中の申請が必要です。当クラブでは少年野球の支援で使用しました。なお補助金の利用に関して、ロータリーが直接ないし間接の利益を得てはいけないという重大原則があります。グローバル補助金はロータリーの7つの重点分野で利用できますが、7つの重点分野とは①平和推進と紛争予防、②疫病予防、③水と衛生、④母子の健康、⑤基礎教育と識字率向上、⑥地域社会の経済発展、⑦環境です。この補助金申請の着眼点として非常に重要な点は持続可能なプロジェクトであることです。補助金が同一プロジェクトに利用できるのは3年です。3年で打ち切った後も現地においてしっかりとその効果が持続できるようなプロジェクトであることが大切です。地域社会のニーズと強みを生かして、恩恵を受ける人々に関与してもらい、研修、教育、呼びかけを行う。現地に還元できるような仕組みを考える。モニタリングと評価を欠かさない等のポイントが重要です。技術面の支援では、現地の方々だけでその後も継続して、運営、管理、改良、メンテナンスをしていく必要があるので、教育的な面に主眼を置いて進めていく必要があります。地区のメッセージとしては、寄付をして終わりではなく、寄付金を使うことによって自分のアイデアが形にできるかもしれないのでチャレンジして下さいということです。奨学金については来年1月13日締め切りで各クラブ宛で応募があります。奨学生派遣の流れについても詳細に説明を受けてきましたので、何かありましたらお問合せください。ロータリー財団は全世界のロータリアンの寄付金のみで運営されています。寄付金が安定的に集められることによって、運営が持続可能なものとなりますでご協力よろしくお願いします。



ロータリー財団寄付について

山口会長

ロータリー財団への寄付は年次寄付基金と恒久基金に分けられます。恒久基金は寄付の元金は使わず、投資収益のみがプログラムに使用されます。それに対して年次基金は寄付をした地区財団活動資金(DDF)と国際財団活動資金(WF)に分けられます。DDFは地区のロータリー財団の財布、WFは世界共通のロータリー財団の財布と考えて下さい。それぞれの寄付者には寄付額に応じて認証が授与されます。皆さんの貴重な寄付が世界のどのようなプログラムに充てられているかご説明します。総予算の88%が奉仕プログラム、残り12%で一般管理運営費、寄付推進事業が賄われています。最も多く使用されているのがポリオ、次いでグローバル補助金、地区補助金となります。慈善団体格付け機関チャリティーナビゲーターから16年連続で最高の4つ星評価を受けています。

クリスマス家族会について

安藤亨委員

いよいよ来週がクリスマス家族会となります。劇団四季の方、昭和音大の卒業生によるアトラクション等を予定しております。例年通りプレゼント交換、bingo大会もございます。毎年大変盛り上がりますが、今年も皆さんと楽しく1年を締めくくればと思っております。ご協力よろしくお願いします。

<点鐘>

山口会長

